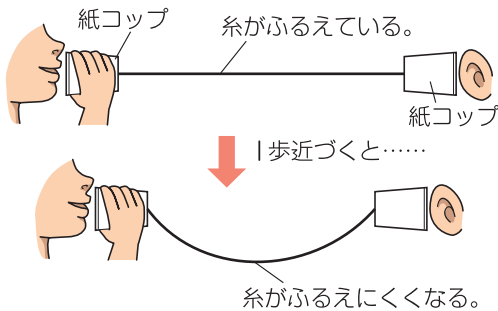


答え

- ① ア…× イ…○ ウ…× エ…○
 ② (1) ウ→イ→ア
 (2) ア…× イ…○ ウ…○
 (3) (たね)→イ→エ→ウ→ア
 ③ (1) イ
 (2) ウ
 (3) ア・イ

考え方

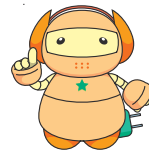
- ① ア 音を出しているものは、ふるえています。ふるえていないものは音を出しません。
 イ 音が出ているトライアングルを手でにぎると、ふるえが止まるため、音が止まります。
 ウ 糸電話では、話すほうの紙コップのふるえが、間の糸を通して聞くほうの紙コップにつたわることで、はなれていても音が聞こえるため、紙コップも糸もふるえています。
 エ 糸電話を使っているときに相手に1歩近づくと、糸がたるんでふるえにくくなるため、糸電話からは相手の声がほとんど聞こえなくなります。



- ② (1) ひりょうをよくまぜた土にたねをまきます。そのあとは、土がかわかないうちに水やりをします。
 (2) 植物をほり出すときに、くきのすぐ近くをほると、根をきずつけてしまうことがあります。根をきずつけないように、土ごとほり出

しましょう。

- (3) ホウセンカは、たねからめを出し、根・くき・葉が成長していきます。花がさいたあとは、実ができます。実の中にはたくさんのたねが入っています。
 ③ (1) たまご→よう虫→さなぎ→せい虫と育つこん虫には、チョウ、カブトムシ、ハチ、アリなどがいます。
 (2) こん虫のからだは、頭・むね・はらの3つの部分からできていて、むねに6本のあしがついています。このこうぞうをもたないものは、こん虫ではありません。



こん虫の頭にある口は食べ物を食べるときに使い、目やしよっ角は、身のまわりのようすを感じとる役目をするんだよ。

- (3) ア カブトムシのよう虫は土の中でくさった葉などを食べ、せい虫は木のしるをなめまします。
 イ モンシロチョウのよう虫はキャベツやアブラナの葉などを食べ、せい虫は花のみつをすいます。
 ウ アブラゼミは、よう虫もせい虫も木のしるをすいます。
 エ ナナホシテントウは、よう虫もせい虫もアブラムシなどを食べます。



モンシロチョウのよう虫がキャベツやアブラナの葉で見つけられるのは、葉を食べるからなのね。

Z会 × ちびむすドリル

考える楽しさを体験しよう!

1年間の
総復習
でスムーズに
進級を



Z会の本



くわしくは
こちら!

